

令和5年度 事務事業評価表 (令和4年度実績)

事務事業名		久米中央土地区画整理一般事務費			担当所属	市街地整備課			
基本情報	分野	7生活基盤	事業期間	平成9年度 ~ 令和7年度					
	基本施策	2 暮らしやすい都市環境の整備	会計種別						
	推進施策	5 快適な住環境の整備	実施計画			総合戦略			
事業概要	対象	久米中央土地区画整理事業							
	意図	事業の完了手続き及び埋蔵文化財の報告書を作成。							
	成果	換地処分通知に伴う公示送達手続きに係る官報掲載費用 埋蔵文化財の報告書作成（生涯学習課が担当）							
	手段	R4年11月18日付の換地処分公告により、久米中央土地区画整理事業は完了。令和4年度については、換地処分通知の公示送達及び事業施行において確認された埋蔵文化財の報告書の作成費用のみ。令和5年度からは、埋蔵文化財の作成費用のみを計上するが、これについては報告書作成担当課である生涯学習課に全額再配当処理をする。							
指標	活動指標	指標名		単位	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度見込	
		事業進捗率		目標値	%	99.4	100	0	0
				実績値	%	99.4	100	0	-
				目標達成度	%	100.0	100.0	-	-
コスト	(単位：千円)		平成31年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 予算		
	トータルコスト		5,473	3,587	5,468	902	1,099		
	事業費		1,642	1,440	1,206	902	1,099		
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		受益者負担	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
	一般財源		1,642	1,440	1,206	902	1,099		
	人件費合計		3,831	2,147	4,262	0	0		
正職員		3,631	2,147	4,262	0	0			
正職員以外		200	0	0	0	0			
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			
人員	正職員 (人)	0.50	0.30	0.60	0.00	0.00			
	正職員以外 (人)	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00			
環境変化等	開始時の周辺環境								
	利便性は高く立地条件に恵まれている。しかし、公共施設が未整備で不足していることから無秩序な市街化が進行。								
	現状の周辺環境								
幹線を始め、道路、上下水道、公園等の公共施設の整備が整い、良好な住環境の整備が成されている。									
今後の予想される周辺環境									
今後更なる土地活用が進むものと予測される。									
評価	評価項目		評価	評価の理由					
	妥当性	1. 市の関与（税金支出）	A	事業の完了や法で定められた報告書の作成に係る経費であり、妥当である。					
		2. 事務事業の目的（対象・意図）	A						
		3. 事務事業の目標（活動指標等）	A						
	有効性	4. 計画の実施状況	A	法定手続きである、換地処分通知の公示送達を実施。また、埋蔵文化財関係についても担当課である生涯学習課が報告書を作成					
		5. 目標（活動指標等）の達成度	A						
		6. 上位施策への貢献度	A						
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	A						
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み	A	事業完了までは、平成9年からの継続事業であり、地区の公共施設や土地の利用増進等一体的・面的整備として実施手段は最適であった。					
		9. 類似事業との統合・代替の検討	B						
10. これまでの実施手段		A							
総合評価	D	事業完了に伴い一般事務費事業の本来業務も実質終了となったが、今後埋蔵文化財の調査報告書の作成費用を計上する。 ※全額埋蔵文化財担当課である生涯学習課に再配当処理							
改革案	今後の実施方向性	維持							
	成果方向性	成果維持							
	コスト方向性	コスト維持							
	改革効果（どのような効果が期待できるか）								

令和5年度 事務事業評価表 (令和4年度実績)

事務事業名		中溝線整備事業費			担当所属	市街地整備課		
基本情報	分野	7生活基盤	事業期間	平成28年度 ~ 令和7年度				
	基本施策	1 交通網の充実	会計種別					
	推進施策	1 幹線道路網の整備	実施計画	該当	総合戦略			
事業概要	対象	都市計画道路中溝線						
	意図	富田西部第一土地区画整理事業区域界から国道2号までの区間において、歩行空間を確保した道路を整備することにより、歩行者の安心かつ安全な空間を形成しつつ、本市の臨海部から国道2号以北の市街地までの道路ネットワークを形成し、交通の円滑化を図る。						
	成果	R4年度実績 用地買収1筆 332.73㎡、移転補償1件。R3年度繰越 用地買収1筆178.63㎡、移転補償1件、令和5年3月30日完了。【累計実績】用地買収2,122.24㎡、移転戸数9件、街路築造2箇所 施工延長L=70m、L=77m						
	手段	●施行場所：大字富田字中溝、日地町及び大字富田字新町 ●工事種別：道路改良及び舗装 L=320m W=16m ●施行期間：平成28年9月9日～令和8年3月31日						
指標	活動指標	指標名	単位	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度見込	
		事業進捗率	目標値	%	49.4	49.6	61.7	61.9
			実績値	%	38.8	47.7	57.7	-
			目標達成度	%	78.5	96.2	93.5	-
コスト	(単位：千円)		平成31年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	
	トータルコスト		57,555	274,355	80,583	90,242	121,484	
	事業費		44,485	265,411	64,246	71,867	103,829	
	特定財源	国庫支出金	23,800	128,300	36,030	27,700	44,500	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	15,800	121,000	23,300	36,900	40,000	
		受益者負担	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		4,885	16,111	4,916	7,267	19,329	
	人件費合計		13,070	8,944	16,337	18,375	17,655	
正職員		13,070	8,944	16,337	18,375	17,655		
正職員以外		0	0	0	0	0		
(事業費集計済)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
人員	正職員 (人)	1.80	1.25	2.30	2.55	2.45		
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
環境変化等	開始時の周辺環境							
	幅員狭路で、通学路でもありながら歩道の整備が成されておらず、安心・安全面での懸念があり、喫緊の整備が望まれている。							
	現状の周辺環境							
用地買収・移転補償を先行して事業を推進。								
今後の予想される周辺環境								
市臨海部と国道2号を結ぶ幹線となり、幅員16mの道路が整備されることにより、沿道土地の高度・有効利用の動きが活発化するものと予測される。								
評価	評価項目		評価	評価の理由				
	受目的性	1. 市の関与 (税金支出)	A	整備により歩行者の安心安全や交通ネットワークの形成による交通の円滑化に寄与するため妥当である。				
		2. 事務事業の目的 (対象・意図)	A					
		3. 事務事業の目標 (活動指標等)	A					
	有効性	4. 計画の実施状況	B	年度当初に予定した支障物件の移転及び用地買収について実施できた。				
		5. 目標 (活動指標等) の達成度	B					
		6. 上位施策への貢献度	A					
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	A					
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み	B	道路整備の手法としては一般的で妥当である。				
		9. 類似事業との統合・代替の検討	B					
10. これまでの実施手段		A						
総合評価	A	当該路線の整備は、富田地区における重要路線であるため、着実に事業を進めていく必要がある。						
改革案	今後の実施方向性	維持						
	成果方向性	成果維持						
	コスト方向性	コスト維持						
	改革効果 (どのような効果が期待できるか)							

令和5年度 事務事業評価表 (令和4年度実績)

事務事業名		土地区画整理管理事業費			担当所属	市街地整備課		
基本情報	分野	7生活基盤	事業期間	平成24年度 ~				
	基本施策	2 暮らしやすい都市環境の整備	会計種別					
	推進施策	5 快適な住環境の整備	実施計画		総合戦略			
事業概要	対象	管理市有地等						
	意図	管理市有地等の適切な整備及び管理を実施し、良好な住環境の保全を図る。						
	成果	H24年度以降は、主に熊毛地区のマンホールポンプの清掃業務委託を実施。R4年度実績 熊毛地区マンホールポンプ清掃業務 業務完了日 令和4年5月16日。過去の区画整理実施地区における地図訂正業務委託						
	手段	区画整理事業が完了した地区内の管理市有地等について、適切な整備・管理を実施する。						
指標	活動指標	指標名	単位	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度見込	
		細事業実施率	目標値	%	1	1	1	1
			実績値	%	1	1	1	-
			目標達成度	%	100.0	100.0	100.0	-
コスト	(単位：千円)		平成31年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	
	トータルコスト		1,285	556	3,373	3,669	5,444	
	事業費		196	198	177	787	400	
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		196	198	177	787	400	
	人件費合計		1,089	358	3,196	2,882	5,044	
正職員		1,089	358	3,196	2,882	5,044		
正職員以外		0	0	0	0	0		
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
人員	正職員 (人)	0.15	0.05	0.45	0.40	0.70		
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
環境変化等	開始時の周辺環境							
	熊毛中央地区土地区画整理事業が完了。整理後引き続き耕作する箇所の用水確保のためマンホールポンプを設置。							
	現状の周辺環境							
耕作継続中								
今後の予想される周辺環境								
特に変化なし								
評価	評価項目		評価	評価の理由				
	妥当性	1. 市の関与（税支支出）		A	市管理地・施設の適切な維持管理であり妥当である。			
		2. 事務事業の目的（対象・意図）		A				
		3. 事務事業の目標（活動指標等）		A				
	有効性	4. 計画の実施状況		A	今年度も計画通り清掃業務を実施した。			
		5. 目標（活動指標等）の達成度		A				
		6. 上位施策への貢献度		A				
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		A				
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		A	熊毛地区のマンホールポンプの管理（清掃等）について業務委託により実施しており、妥当である。			
		9. 類似事業との統合・代替の検討		A				
10. これまでの実施手段		A						
総合評価	A		管理市有地を適切に管理し、市民への安心安全を図る。					
改革案	今後の実施方向性	維持						
	成果方向性	成果維持						
	コスト方向性	コスト維持						
	改革効果（どのような効果が期待できるか）							

令和5年度 事務事業評価表 (令和4年度実績)

事務事業名		土地区画整理清算事業費			担当所属	市街地整備課		
基本情報	分野	7生活基盤	事業期間	平成16年度 ~ 令和9年度				
	基本施策	2 暮らしやすい都市環境の整備	会計種別					
	推進施策	5 快適な住環境の整備	実施計画			総合戦略		
事業概要	対象	新地地区の徴収清算金 R5年度から久米中央地区の清算金の徴収業務を開始						
	意図	徴収清算金の完納						
	成果	新地地区 R4年度 実績なし 久米中央地区 R5年度より徴収業務開始						
	手段	分割納付となっている新地地区の徴収清算金について、完納させる事業。R5年度からは久米中央地区の清算金の徴収業務を開始						
指標	活動指標	指標名		単位	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度見込
		清算金納付	目標値	%	100	99.81	100	100
			実績値	%	99.79	99.8	99.8	-
			目標達成度	%	99.8	100.0	99.8	-
コスト	(単位：千円)		平成31年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	
	トータルコスト		363	716	1,421	65,658	6,535	
	事業費		0	0	0	59,173	50	
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		0	0	0	59,173	50	
	人件費合計		363	716	1,421	6,485	6,485	
正職員		363	716	1,421	6,485	6,485		
正職員以外		0	0	0	0	0		
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
人員	正職員 (人)	0.05	0.10	0.20	0.90	0.90		
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
環境変化等	開始時の周辺環境							
	新地土地区画整理事業が完了し、清算事務が開始 R5年度からは久米中央地区の清算金徴収業務が開始							
	現状の周辺環境							
分割納付者等に対し定期的に納付依頼を実施								
今後の予想される周辺環境								
完納まで実施								
評価	評価項目		評価	評価の理由				
	妥当性	1. 市の関与（税金支出）		A	納付清算金の完納であり妥当である。			
		2. 事務事業の目的（対象・意図）		A				
		3. 事務事業の目標（活動指標等）		A				
	有効性	4. 計画の実施状況		B	新地地区の対象は1件である。久米中央地区については、R5年度より徴収業務を開始			
		5. 目標（活動指標等）の達成度		C				
		6. 上位施策への貢献度		C				
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		A				
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		A	定期的に納付連絡を実施しており、今後も引き続き完納に努める。			
		9. 類似事業との統合・代替の検討		A				
10. これまでの実施手段		A						
総合評価	B	新地については今後も相手側の状況を勘案しつつ、計画的な完納を図る。久米中央地区についてR5年度に清算業務を開始。						
改革案	今後の実施方向性	維持						
	成果方向性	成果維持						
	コスト方向性	コスト維持						
	改革効果（どのような効果が期待できるか）							

令和5年度 事務事業評価表 (令和4年度実績)

事務事業名		富田西部第一土地区画整理一般事務費			担当所属	市街地整備課			
基本情報	分野	7生活基盤	事業期間	平成5年度 ~ 令和6年度					
	基本施策	2 暮らしやすい都市環境の整備	会計種別						
	推進施策	5 快適な住環境の整備	実施計画			総合戦略			
事業概要	対象	西部2号線等の都市計画道路及び区画道路や公園等の公共施設							
	意図	健全で災害に強い街づくりに有効であり、家屋の新築や交通の利便性などにより経済的な波及効果も期待できる							
	成果	審議会 R4.11月 保留地の予定価格について評価委員会を開催。地区内の管理地について草刈等を実施。地区内管理施設の光熱水費等を支出。							
	手段	富田西部第一土地区画整理事業にかかる審議会、評価委員会の開催及び地区内施設の維持管理を行う							
指標	活動指標	指標名		単位	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度見込	
		事業進捗率		目標値	%	99	100	99.3	99.7
				実績値	%	97.9	98	99	-
				目標達成度	%	98.9	98.0	99.7	-
コスト	(単位：千円)		平成31年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 予算		
	トータルコスト		5,254	2,906	3,843	3,227	3,478		
	事業費		697	759	647	1,065	1,316		
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0		
		受益者負担	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0		
	一般財源		697	759	647	1,065	1,316		
	人件費合計		4,557	2,147	3,196	2,162	2,162		
正職員		4,357	2,147	3,196	2,162	2,162			
正職員以外		200	0	0	0	0			
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)			
人員	正職員 (人)	0.60	0.30	0.45	0.30	0.30			
	正職員以外 (人)	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00			
環境変化等	開始時の周辺環境								
	既設道路沿いに住宅地としての土地利用が行われているが、中心部は空洞化現象が発生し、さらに営農者の高齢化等により乱開発が危惧されていた。								
	現状の周辺環境								
都市計画道を始めとして、区画道路、上下水道、公園等の公共施設の整備も進み、良好な住環境としての整備がほぼ整っている。									
今後の予想される周辺環境									
更なる土地の有効活用が進むものと予測される。									
評価	評価項目		評価	評価の理由					
	受目的性	1. 市の関与 (税金支出)	A	公共事業の整備改善を図ると共に、土地の利用増進が進み、賑わいや居住人口の向上に寄与するため妥当である。					
		2. 事務事業の目的 (対象・意図)	A						
		3. 事務事業の目標 (活動指標等)	A						
	有効性	4. 計画の実施状況	B	審議会も開催し、草刈り等地区内の管理地の管理作業も計画通り実施できた。					
		5. 目標 (活動指標等) の達成度	B						
		6. 上位施策への貢献度	B						
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	A						
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み	A	平成5年からの継続事業であり、地区の公共施設や土地の利用増進等一体的・面的整備として実施手段は最適である。					
		9. 類似事業との統合・代替の検討	B						
10. これまでの実施手段		A							
総合評価	A	審議会等の開催及び市管理地の保全にかかる経費削減のため、事業の早期完了に向け重点的に取り組む。							
改革案	今後の実施方向性	維持							
	成果方向性	成果維持							
	コスト方向性	コスト維持							
	改革効果 (どのような効果が期待できるか)								

令和5年度 事務事業評価表 (令和4年度実績)

事務事業名		富田西部第一土地区画整理事業費			担当所属	市街地整備課		
基本情報	分野	7生活基盤	事業期間	平成5年度 ~ 令和6年度				
	基本施策	2 暮らしやすい都市環境の整備	会計種別					
	推進施策	5 快適な住環境の整備	実施計画	該当	総合戦略			
事業概要	対象	西部2号線等の都市計画道路及び区画道路や公園等の公共施設						
	意図	健全で災害に強い街づくりに有効であり、家屋の新築や交通の利便性などにより経済的な波及効果も期待できる						
	成果	R4年度実績 公園整備1箇所 宅地造成						
	手段	都市計画道路及び区画道路；施工延長6,334m、幅員6~28m、通路；施工延長557m、幅員2~4m、公園；整備面積7,061.64㎡、水路；施工延長335.1m、宅地；造成面積157,206.34㎡、保留地；1,524.10㎡、事業期間；平成5年9月9日~令和12年3月31日（清算期間5年を含む）						
指標	活動指標	指標名		単位	R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度見込
		事業進捗率	目標値	%	99	100	99.3	99.7
			実績値	%	97.9	98	99	-
			目標達成度	%	98.9	98.0	99.7	-
コスト	(単位：千円)		平成31年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 予算	
	トータルコスト		82,409	47,936	19,781	137,032	95,840	
	事業費		50,524	23,251	4,154	111,090	63,053	
	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	32,400	11,900	0	50,800	8,000	
		受益者負担	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		18,124	11,351	4,154	60,290	55,053	
	人件費合計		31,885	24,685	15,627	25,942	32,787	
正職員		31,585	24,685	15,627	25,942	32,787		
正職員以外		300	0	0	0	0		
(事業費集計済分)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
人員	正職員 (人)	4.35	3.45	2.20	3.60	4.55		
	正職員以外 (人)	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00		
環境変化等	開始時の周辺環境							
	既設道路沿いに住宅地としての土地利用が行われているが、中心部は空洞化現象が発生し、さらに営農者の高齢化等により乱開発が危惧されていた。							
	現状の周辺環境							
都市計画道路を初めとして、区画道路、上下水道、公園等の公共施設の整備も進み、良好な住環境としての整備がほぼ整っている。								
今後の予想される周辺環境								
更なる土地の有効活用が進むものと予測される。								
評価	評価項目		評価	評価の理由				
	受目的	1. 市の関与（税支支出）		A	公共施設の整備改善を図ると共に、土地の利用増進が進み、賑わいや居住人口の向上に寄与するため、妥当である。			
		2. 事務事業の目的（対象・意図）		A				
		3. 事務事業の目標（活動指標等）		A				
	有効性	4. 計画の実施状況		B	工事可能箇所については完了、着工済みで概ね実施できた。			
		5. 目標（活動指標等）の達成度		B				
		6. 上位施策への貢献度		A				
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		A				
	効率性	8. コスト削減へのさらなる取組み		A	平成5年からの継続事業であり、地区の公共施設や土地の利用増進等一体的・面的整備として実施手段は最適である。			
		9. 類似事業との統合・代替の検討		B				
10. これまでの実施手段		A						
総合評価	A		早期完了に向け、関係権利者・関係機関との合意形成及び協議を積極的に進めて行く。					
改革案	今後の実施方向性	維持						
	成果方向性	成果維持						
	コスト方向性	コスト維持						
	改革効果（どのような効果が期待できるか）							